

- 問1 九州南部の鹿児島県などに広がる火山灰層からなる台地において、古くから水田稲作があまり行われず、サツマイモや飼料用トウモロコシなどの畑作、および畜産業が発展した理由として、土壌の性質の観点から最も適切な説明を選びなさい。 (2018年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---------------------------------------|--|
| 1. 土壌が非常に硬い岩盤状になっており、農作物の根が深く張ることができないため。 | 2. 土壌の浸透性が非常に高く、水田に必要な水を地表に保持しておくことが困難であるため。 | 3. 土壌に塩分が多く含まれており、稲の成長を妨げる性質を持っているため。 | 4. 火山灰に含まれる栄養分が多すぎるため、稲が成長しすぎて倒伏してしまうため。 |
|---|--|---------------------------------------|--|
- 問2 宮崎県と鹿児島県にまたがる地域において、大規模な台地が形成された主な要因として正しいものはどれか。 (2018年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------|
| 1. 冬の季節風によって運ばれた黄砂が、長期間にわたって堆積したため。 | 2. 海岸沿いの平地が波の浸食を受け、平坦な地形が取り残されたため。 | 3. 河川が運んできた土砂が河口付近に堆積し、地殻変動で隆起したため。 | 4. 過去の火山活動にともなう噴出物が、地表を厚く覆ったため。 |
|-------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------|
- 問3 阿蘇山に見られる「カルデラ」と呼ばれる地形に関する説明として、その成り立ちと内部の様子を正しく組み合わせたものはどれですか。 (2022年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 大規模な噴火のあとに中央部が陥没して形成され、内部には平坦な土地が広がって集落や農地が存在している。 | 2. 川が山地から平地へと流れ出す場所に土砂が堆積して形成され、水が得やすいため古くから大規模な都市が発達している。 | 3. 火山灰が長期間にわたって厚く降り積もって形成され、水はけが良すぎるため稲作には向かない広大な台地となっている。 | 4. 地殻変動によって山地が海に沈んで形成され、複雑に入り組んだ海岸線が天然の良港として利用されている。 |
|---|--|--|--|
- 問4 九州地方の阿蘇山に見られる、火山活動によって形成された世界最大級の大きなくぼ地を何と呼びますか。また、その周辺にある別府などの地域で、火山の熱を利用して発達している観光資源として最も適切なものを選びなさい。 (2023年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------|-----------------------------|---------------------------|-------------------------|
| 1. 盆地があり、ブドウやモモの栽培が盛んに行われている | 2. リアス海岸があり、真珠の養殖が盛んに行われている | 3. カルデラがあり、広大な水田地帯が広がっている | 4. カルデラがあり、豊富な温泉が湧き出ている |
|------------------------------|-----------------------------|---------------------------|-------------------------|
- 問5 鹿児島市中心部の1983年の状況と2004年の状況を比較した際、地図上の表現から読み取れる土地利用の変化として最も適切なものはどれか。 (2020年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 市街地中心部に位置する城山が削られ、大規模な住宅団地として再開発された。 | 2. 駅の西側に位置する高等学校の敷地が大幅に拡大され、新たな校舎が建設された。 | 3. 沿岸部において埋め立てが進んだが、港湾施設の整備により海岸線の形状に変化は見られない。 | 4. 美術館の南側に、開いた本の形をした地図記号で表される図書館が新たに設置された。 |
|---|--|--|--|
- 問6 宮崎県において、きゅうりなどの生産にビニールハウスなどの施設を用いた農業が積極的に行われている理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2017年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|------------------------------------|--|
| 1. 大都市の近郊という立地を活かして、輸送コストを抑えながら新鮮な野菜を届けるため | 2. 冷涼な気候を利用して、他の地域が収穫を終えた後の時期に出荷を遅らせるため | 3. 土地の傾斜を活かして、機械による大規模な農作業を効率化するため | 4. 他の地域からの出荷が少なく、市場での取引価格が高い時期に合わせて出荷を行うため |
|--|---|------------------------------------|--|
- 問7 鹿児島県などの地形図に見られる、標高の低い谷状の土地の利用について述べた文として、正しいものを次の中から選びなさい。 (2020年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|-------------------------------------|----------------------------------|------------------------------------|
| 1. 平坦で広大な面積を確保しやすいため、大規模な工業団地が造成される。 | 2. 土壌の通気性を確保するため、水田ではなく果樹園として利用される。 | 3. 傾斜が急で水の確保が難しいため、主に森林として利用される。 | 4. 周辺に比べて水が得やすいため、水田として利用されることが多い。 |
|--------------------------------------|-------------------------------------|----------------------------------|------------------------------------|
- 問8 日本の諸地域のうち、強い日差しを避けるための深い軒（のき）や、強風対策として家を囲む石垣、さらに屋根瓦を漆喰（しっくい）で固めるといった、独自の気候条件に適応した伝統的な家屋の工夫が最もよく見られる地域はどこですか。 (2023年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 沖縄県 | 2. 北海道 | 3. 石川県 | 4. 岐阜県 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問9 人口増減率がプラス〇点四七パーセントを示している沖縄県の産業構造について、統計資料から読み取れる特徴を説明したものと、最も適切な記述を選びなさい。 (2024年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 広大な平原を利用した大規模な機械化農業が中心であり、製造品出荷額も全国トップクラスである。 | 2. 海面漁業の漁獲量が国内最大であり、それに関連する食料品製造業の出荷額が県内産業の半分以上を占める。 | 3. 人口増加に伴い、自動車産業などの重化学工業が急成長し、製造品出荷額が九州地方で最大となっている。 | 4. 製造品出荷額は全国的に見て低い水準にあるが、温暖な気候を活かした畜産業などが盛んである。 |
|--|--|---|---|
- 問10 日本の各地方における農業産出額の品目別割合に関する説明として、九州地方の特徴を正しく述べているものを次から選びなさい。 (2025年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. みかんやりんごなどの栽培が盛んであり、果実の占める割合が他の品目より突出して高い。 | 2. 肉用牛や豚などの飼育が盛んであり、品目別割合の中で畜産の占める割合が最も高い。 | 3. 他の地方と比べて米の占める割合が非常に高く、全体の半数近くを占めている。 | 4. 大都市への出荷に向けた近郊農業が盛んであり、野菜の占める割合が最も高い。 |
|--|--|---|---|
- 問11 九州南部の広範囲に見られる「シラス台地」の土壌の成り立ちと性質について説明したものと、最も適切なものはどれですか。 (2017年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|----------------------------------|
| 1. 火山の噴出物が積み重なって形成されており、水はけが非常に良い。 | 2. 河川が運んできた土砂が堆積してできており、水分を蓄える力が強い。 | 3. 大昔の貝殻やサンゴが積み重なってできており、アルカリ性が強い。 | 4. 植物の遺骸が分解されずに堆積した泥炭地であり、湿気が多い。 |
|------------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|----------------------------------|
- 問12 日本列島周辺の海底地形のうち、九州地方の西側にある東シナ海の特徴を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 海岸沿いに砂が堆積してできた砂州が発達し、巨大なラグーンを形成している。 | 2. 水深6000mを超える細長い溝状の地形が続き、プレートの沈み込み帯となっている。 | 3. 大陸から続く水深200m程度までの平坦な海底が広がっており、好漁場となっている。 | 4. 周囲を急峻な斜面に囲まれた、非常に深い盆地状の地形が中心となっている。 |
|---|---|---|--|